

石神

今後ノ對シテ施策ニ對スル意見

源市光

大佐 細長 次長

局長

昭和二〇、四、二九
種村大佐



一、要旨

今更ラ申スヘキニ非ザルモ「ソ」聯ノ對日
 動向ハ帝國ノ大東亞戰爭遂行ニ致命
 的影響ヲ及ボシテナルコトハ大東亞戰
 爭開始前以來ノ戰爭指導上ノ最大關
 心事デアツタ 而シテ此ノ「ソ」ノ對日動
 向ヲ大東亞戰爭ノ終末迄中立的態度
 ヲ維持セシメ得レバ戰爭指導上滿點デ
 在ル

今日迄「ソ」中立條約ニ依存シテ帝國ハ
 「ソ」間ノ關係ヲ危ゲ乍モ維持シテ來
 タノデアアルケレドモ今^{且條約後}ラヤ「ソ」中立條約破
 棄通告ヲ受ケタル現狀態ニ於テハ遺憾
 乍ラ日本^且獨力ニ依リ「ソ」ノ中立態度ヲ

維持セシメ得ヘキ何等ノ根據ヲモ持ツ
テ耳ナイ
此ニ帝國トシテハ戦争指導上最大ノ不安
焦慮ニ襲ワレ來ツタ次第デ在ル然シ之
ハ本質的ニ見レバ既ニ開戦當時以來内
在シテ居タ問題デ見様ニヨツテハ如何ト
モシ難イ問題トモ考ヘラレル、其處デ現
下ニ於ケル對ソレ施策ハ恰モ劍ヶ峯ニ押
サレタ相撲取ガ打ツ棄リニ成功スルカ或ハ押
シ切ラル、カ、大體九對一、全ク捨身ノ戦法
ニアラザレバ成功シ難イ本質的ナモノデア
ルコトヲ深ク期シテ九死ニ一生ヲ得ル積リ
テ本施策實行ニ邁進シナクテハナラナイ
若シ成功シナカッタ場合ハ何トカナルト考

日本標準規格 B-4

122

0696

へテモ何トモナラズ其ノ時ハ押シ切ラル、許リ
 デ在ル、今ラ日ニ於テハ其ノ様ナ幅ハナイ
 成功シナカツタ場合トハ何ゾヤ、

ソレガ日本ト同調セズ、米ト同調シタ場合デ
 在ル、

ソレガ米ト同調スルトハ何ゾヤ、

日ソレ交渉即對米交渉トナリ且帝國カ求
 メテ無條件降伏ナルカ如キ事態ニ放リ込
 マレタ場合デアアル

其處デ今後ノ對ソレ交渉ニ當ツテハ其ノ目的
 ト限度ト方法トヲ確立シテ掛ラナケレハ火
 遊ヒトナル危険極メテ大デ在ル

況ヤ對ソレ交渉即世界終戦(對米屈伏)トシ
 テ自己ノ戦意ヲ「カモフラージュ」シテ本交渉ヲ

行ハントスル徒輩ナキニシモアラス
故ニ嚴ニ警言戒ヲ要スル點デアアル
ニ世界終戦ヨリ見タル所ノ對ソノ施策
大凡今次戦争ノ終末ヲ如何ナル規模ト様相ト
於テ求メントスルヤハ戦争指導者ノ特ニ留
意シム念頭カラ去ツテハナライ點テ在ル
然ラバ戦史的ニ見テ此ノ大戦争ノ終末ハウヤ
ムヤナ形テ持ツテ行ケルカドウカ、最後迄頑張
ルダロウト考ヘタ獨逸ハ今日アノ形テ終末ヲ
見ントシツ、アル所ヲ考ヘルト帝國ノ今後ノ
戦争指導ニハ前途ニ極メテ多難ナルモノ存
スルコトヲ豫期セラル
飽ク迄戦フト強ク強調スレバスル程如何ニシテ
勝ツヘキヤト云フ方法論ニ於テ戦争指導者

日本標準規格 B-4

124

0698

ハ勿論國民上下ヲ擧ゲテ疑念ヲ招來スベキハ
蓋シ止ムヲ得ナイ事情デアアル

作戦必勝ノ道ナキ所ニ戦勝ノ光明ナドが存
在シヤウ竹苦ガナイ、況ヤ作戦ノ必勝ナキトキ外
交ニ依リ情勢ノ展開ヲ計ラントスルが如キハ屈
伏ヘノ努力カカ然ラズンバ作戦必勝ヘノ補助手段
カノ何レカニ存スル

屈伏ヘノ努力デアツタナラ相手カ如何ニ強カラウ
ト即座ニ出來ル、然シ條件ハ許サレナイ

作戦必勝ヘノ補助手段デアツタナラバ其ノ成功
ノ公算ハ作戦ノ難易ニ正比例スル、其處デドウ
シテモ作戦必勝ノ道ナシトスレバ之カ補助手段
タル外交ノ道モ存在シナイト見ルモ過言デアアル
マイカ、

其處デ熟ク帝國現下ノ作戰ノ推移ヲ考察ス
ルトキ今後ノ對ソノ施策ニ殆シド期待ヲ懸ケ
得ラレナイ様ナ氣ガスル、若シ期待ヲ懸ケルトシ
タラハ終戰方策トシテノ對ソノ交渉ニ轉移スベキ
デハナイカトノ考ヘガ起ツテ來ルノモ無理カラ又點
デアアル

戰爭指導者トシテモ一應此ノ點ニ就イテ考ヘテ
見ル必要ガ有ルノデハ無イカ、只作戰ノ推移如
何ニ不拘今後ノ對ソノ施策ニ成功ノ公算アリ
トスレバソノ米ノ對日及對支問題ニ關スル離隔
ヲ求メ得ルヤ否ヤニ存スル、

此ノ一點ガ九死ニ一生ヲ得ル所ノ對米英戰爭
完遂ノ爲ノ對ソノ施策ナリト云フベキデ在ル、
然レアツサリ考ヘテ米英トノ戰爭ヲ中止シテ

日本標準規格 B-4

126

0700

國體ヲ護持シ帝國本土ヲ守ツテ此ノ邊テ戰
 争ヲ終ラウト云フ輕イ考ヘヨ以テ對ソレ施策ニ
 臨ニダラ何ウカト云フ考ヘモ起ルテアラウガ、相手
 ノアル戦争デ在ル、ソウハ易々問屋ハ却シテ吳
 レナイ、假令一時對米終戦ニ關スル外交交渉
 成功スルモ米ハ偽裝停戦シテ我カ戰意ヲ喪失
 セシメタル後必ス大問題ヲ吹掛ケテ來ルニ違ヒナイ
 其ノ大問題トハ國體ノ破壊以外ニ何者モアル
 マイ、日本民族ノ根ヲ止メルノハ皇室ヲ抹殺ス
 ル以外ニ無イコトハ彼等モ充分知ツテ居ル、
 其處デ世界終戦ノ見地カラ見テモ帝國ノ對
 ソレ施策ハ深刻ナル場面ニ追ヒ込マル、コトハ當
 然覺悟レナクテハナラス、
 作戦モ外交モ戦争モ之レ悉ク最後ノ紙一重ノ

所デ勝敗ヲ決スル

今ヤ帝國ノ戦争必勝ノ道ハ外交デモナク經濟
デモナイ、本エニ於ケル 天皇ニ奉仕シ奉ル一億
特攻ノ團結ト之ニ依ル作戰必勝ヘノ努力以外ニ
何物モ無イ、

對ソレ施策ニ依ツテ帝國ノ運命ヲ打開シヤウ
ナツト思ツテ之ニ多クノ期待ヲ仕様トシタナラバ之
カ成功シナカツタ場合ニ於ケル反作用ヲ考フルトキ
其ノ危険極メテ大デアル、

三、對ソレ施策ノ目的

以上ノ見地ニ基イテ對ソレ施策ハ飽ク迄對米英
戦争完遂ノ爲ノ對ソレ施策デナケレハナラナイ、

即チ對米英戦争完遂上日ソレ戰絶對回避
ノ爲ノ施策デナケレハナラナイ、

日本標準規格 B-4

128

0702

此ノ點ヲ明カニシテ對ソレ施策ニ進ムベキデア
 何處迄モ米英ノ戰意ヲ喪失セシムル迄戰マ
 ノデアアル、戰ハンガ爲ニ必要ナル對ソレ施策ヲ行
 フノデアアル

萬一飽ク迄戰フト云フ決心ノ無キ對ソレ外交デ
 アツタナラバ危険此上モナイコトハ既ニ述ベタ通
 リデ在ル

而シテ本目的達成ノ爲ソレ側ニ確約セシムベキ
 條件ハ日ソレ同盟ナリヤ、日ソレ支同盟ナリヤソレ
 ノ對米嚴正中立ナリヤノ何レカニ存ス

然ルニ日ソレ中立條約ノ破棄セラレタル今日此
 中何レヲモ確約セシムルコトハ餘程ノ神業デア
 リ餘程ノ「チヤンス」ヲ擲マナイ限り困難ナルコトハ
 云ハネバナラヌ

此處ニ於テ本目的達成ノ爲如何ナル形式ニテ
ソノ對日態度ヲ確約セシムベキヤハ本施策達成
否ノ鍵トモ云フベキデ在ル、下手ヲスルトソノ聯
ヨリモ背負投ヲ食ハサレ取ラル、物ハ皆取ラレテ
何ニモ得ル處ナク日ソノ戦争ニ導サ入セラル、虞
ナキニシモアラズデ在ル

四、對ソ施策實施上我方ノ讓歩スベキ條件
前項目的達成ノ爲必要ナル條件ハ悉ク之ヲ停
止シ讓歩シ開放シ斷念スルニ各デアツテハイケ
ナイ、換言スレハソノ側ノ言ヒナリ放題ニナツテ
眼ヲ潰ル、日清戦争後ニ於ケル遼東半島ヲ
還付シタ悲壯ナル決心ニ立換ツタナラバ今
日日本ガ滿洲ヤ遼東半島ヤ或ハ南樺太臺
灣ヤ琉球ヤ北千島ヤ朝鮮ヲカナグリ捨テ、

日本標準規格 B-4

日清戦争前ノ態勢ニ立換リ、明治御維新
 ヲ昭和ノ御維新ニヨツテ再建スルノ覺悟ヲ以
 テ飽ク迄日ソ戦ヲ回避シ對米英戦争完遂
 ニ邁進シナクテハナライ。三千年悠久ノ歴史
 カラ考ヘテ見タナラバ過去五十年ノ變化ノ如キ
 ハ民族興亡ノ一波瀾トシテ考ヘレバヨイデハナイ
 カトアツサリ考ヘラレナイデモナイ
 然シ要ハ帝國ニ對スルソ側ノ要求ノ程度如
 何ニ存スル
 若シソ側ガ以上ノ如キ要求ヲ提示シ來ツタ場
 合ハドウスルカ、其ノ時ハ既ニモウソ側ガ米英ト完
 全ニ手ヲ繋ガダ時デ在ル
 日清戦争前ノ態勢ニカヘツテモソ側ト戦ヲシ
 ナイカ、眞逆ソ側トシテハソ側ナ無理ハ云フマイト

六

思ハレルケレ共帝國トシテハ此ノ肚ヲ以テ日
ソノ戦争ヲ絶對ニ回避スベキデアツテ其處迄肚
ヲ極メテ對ソノ交渉ニ移ルベキデアル、移ツタ以上
ソノ側ノ言ヒ分ヲ待ツテ之ニ應ズルト云フ態度ニ
出ツルベキデ在ル、我ヨリ進ンデ以上ノ諸條件
ヲ展開スルコトノ適當ナラザルハ外交掛引上カラ
云ツモ當然考慮セラルベキ點デアアル
次ハ支那ニ對シテソノ聯ガ如何ナル要求ヲ出ス
デアラウカ、之ハ人ノ禪デ相撲ヲ取ル様ナモノ
デソノ側トシテハ餘リ乘ツテ來ナイ問題デア
ルト思フ
一時現下 支那ノ大陸ヲ米英ノ勢力下ニ置クモ
現下ニ於テソノ聯ノ戦争指導トシテハ止ムヲ得
ナイデアラウト考ヘラレル

今度ノ戦争デ支那問題ノ爲ニソソ聯カ米英ト
 戦ヲスルダロウト考ヘルコトハ先ヅク無イト云フ
 モ過言デハアルマイ 從而假令帝國ガ延安
 ノ本質ヲ確ムルコトナク其ノ共產色ナルヲ以テ之
 ヲ餌ニシテソソ聯ヲ支那方面ニ誘導シ様ト
 思ツテモ中々難カシイ問題デハアルマイカ
 只現下帝國カ帝國軍ノ勢力下ニアル支那ノ
 占據地域ヲ直チニ延安トソソ聯ニ引キ渡シ得
 タトシテモ苟クモ民族意識ノ旺盛ナル支那民
 衆ガ直チニ日本軍ニ代ルニソソ聯ヲ以テシテ
 満足スルデアラウカドウカ、斯ル場合結局延
 安ハソソ聯ニアラズシテ支那民衆本來ノ姿
 ニ返ルノデハナイカ、然ラズンバ表面飽ク迄ソソ
 聯トノ關係ハ立切ツテ進ムノデハアルマイカ

何レデモ宜シイ支那ニ於ケル帝國軍ノ犠牲ト
支那民衆ノ犠牲トニ於テソレ聯ヲ此ノ方面ニ誘
導サシ支那大陸ニ於テ米ソレヲ確執セシメ得ルハ
帝國ノ爲幸甚此ノ上モナイコトデアラウ
然ル場合重慶ノ態度ハ固ヨリ延安ト同調スベ
ク、重慶ト雖モ支那民族アツテノ重慶デアリ
抗日セニガ爲エ米英ニ依存シタノデアル
日本ガ支那大陸ヨリ撤退シタル上ハ何モ好ンテ
米英ト提携スベキデアラウカ、重慶亦支那
民族本來ノ姿ニ還ツテ延安ト對外的ニ相
提携スルデアラウ
國內問題トシテ彼等ガ對立スベキコトアルベ
キハ支那民族五千年ノ歴史カラ考ヘテ見テモ
永久ニ絶エナイデアラウ

日本標準規格 B-4

134

0708

若シ斯クノ如キ情勢ニ於テ米英カ支那大陸
ニ上陸シ若クハ支那大陸ニ躊躇スルカ如キコト
アラシカ其ノ不幸ハ支那事變以上ニ非ル支那
民族ノ不幸デアアルコトハ彼等ガ一番良ク知ツ
テ居ルベキデアアル

即チソレ聯ガ乘ツテ呉レサヘスレバ支那問題ヲ
中心トスル日ソレ支ノ結合提携ハ誠ニ面白イ
問題デアアル、成否ヲ超越シテ心掛クベキ施
策デアアルマイカ

然シ其ノ成功ノ公算タルヤ九死對一以上困難
デアアルコトヲ覺悟シナケレバナラナイ

但シ嘗テ己ノカノ及バサルニソレ聯ヲ西亞ニ向ハ
シメ或ハ印度ニ向ハシメントシテ日ソレノ提携
ヲ計ラントシタコト、比較スレハ情勢ノ推移トハ

申セ數歩ヲ進メタ現實的ナル命題デアアル
又南方地域ニ於テモ帝國軍ノ現存スル限り戰
争終末ノ形態ニ於テソシ聯ニ能フ限りノ發言權
ヲ與フベク協力スルニ各デアツテハナラナイ
五、對ソシ施策實行要領
以上ヲ考察スルト帝國ノ採ルベキ對ソシ施策ハ
誠ニ至難ヲ極ムルト云フモ過言テハナイ
從而之ニ當ルベキ人ハ天下ノ至寶ヲ以テシナクテ
ハナラヌ、現在其ノ所ノ人ヲ得ズトセバ其ノ所ヲ得
タ人ヲ以テ之ニ當テナクテハナラナイ
何レニシロ帝國ノ決心次第デアアル帝國ノ決心ナ
クシテ人ヲ探サントスルモ人來ラズ又帝國ノ決心
サヘアレバドンナ者デモ誠意サエアレバ先方ニ通
ズルトモ言ヘル決心ト人選二兩者併立シ得タ時ニ

日本標準規格 B-4

滿點デアル

必要トアラバ三顧ノ禮ヲ以テ之ヲ向ヘルニ躊躇
シテハナラナイ

六對ソレ施策ト對支施策トノ關係

以上ノ見地ニ基イテ今後採ルベキ帝國ノ對ソレ施
策ト對支施策トハ一貫性がナクテハナラナイ

右ノ見地ヨリスレバ對支政謀略ノ重點ハ白紙的
ニ考フレバ延安ニ施行セラルベキが當然デアラウ
然ルニ此度採ラレタル對支政謀略ノ重點ハ重
慶ニ^指向セラレ延安ハ補助若クハ牽制トシテ
定メラレテ居ル

然シ重慶モ延安モ同ジク支那民族デアル、然モ
重慶トハ糸ガ續イテ居リ又續ケ得ル前途ガアル
然^形重慶延安ニ對シテハ昨年七月延安政權ト

呼稱スルコトヲ定メタル當時ニ於テサへ何彼ト言
ヲ左右ニシテ之ヲ意志ガナカツタノカ現地ノ空氣
デアアル
從而現在迄ニ何等昨年發セラレタル大陸指示
ニ基ク具體的措置ヲモ擲ンテナナイ
コシナ海ノ者トモ山ノ者トモ判ラナイモノニ手ヲ差シ
伸ベテモ其ノ成功ヘノ見透シカ全クツカナイ
然モ重慶モ延安モ抗日ト云フ見地ニ於テハ同一
歩調デアアルコトハ支那事變以來國共抗日合作ノ
經緯ニヨルモ明カデアアル
從而重慶トノ間ニ手カ握レタナラバ延安トノ
間ニモ手カ握レル筈デアアル
其處デ先ヅ公算ノアル重慶ニ向ツテ重點ヲ
指向セラレ之トノ間ニ停戦ヲ企圖セラレタノハ

日本標準規格 B-4

138

0712

當然ノコトデアアル此處ニ尚注意スベキコトハ對
重慶交渉即對米~~原~~交渉ニナル處ノアルコト
ハ對ソレ交渉即對米交渉トナル處ト同然ト
云フコトデアアル

右ノ見地カラ此ノ度ノ大陸指示ニ於テモ對重慶
全面和平トスルコトナク重慶トノ停戰ニ努ムト
シ支那民族ノ覺醒ヲ促サントシタ所以デアアル
之ヲ要スルニ今後採ラントスル對ソレ施策ト
此度發動セラレタル對支施策トノ間ニ何等
間然スル處ナシト云フベキデアアル

七、對ソレ施策ト今後ノ作戰準備トノ關聯
今後ニ於ケル帝國ノ對ソレ態度ハ絶對對ソレ戰
間辭ニ存スルヲ以テ今更ラ對ソレ戰生起ヲ前
提トシテ行フトコロノ作戰準備ハ嚴ニ反省ヲ要
ス。

スベシ

從而帝國が對ソノ開戦イ

即チ大陸全般ニ於ケル作戰準備及兵力運用ノ方針ハ飽ク迄對米英戦完遂ヲ目標トシ堅實不敗ノ地歩ヲ確立スルヲ主眼トシテ施策セラルベク一方ソノ對シテハ對日態度ノ惡化ヲ防止シ且今後採ルベキ對ソノ施策ノ後據支援タラシムベキモノトス

ハ對ソノ施策ノ轉換

以上ノ考慮ニ基キテ^概身^ヲ發足シタ對ソノ施策モ途中ニ於テ其ノ目的及對照ヲ轉換セザルヲ得ナクナル場合ノアル事ヲ認識スル必要ガアル其ハ即チソノ仲介若クハ恫喝ニ依リ世界終戦ヘノ導入ヲ餘儀ナクセラルハコトデアル

日本標準規格 B-4

140

0714

帝國トシテハ對ソシテ施策ニ發足シタ以上嫌應
ナシニ其ノ仲介若クハ恫喝ニ從ハザルヲ得ナイ
然ラズンバ日ソシテ戰ヲ睹スルヨリ外ハナイ

其テハ對ソシテ施策ノ目的ヲ抹殺シテシマフ事
ニナル

即チ間接的トハ云ヘ我カ最モ好マザル對米和平
交渉ニ轉換セサルヲ得ナイノデアアル

若シ之ヲ恐レルナラバ對ソシテ施策ハ行ハザルニ不如
對ソシテ施策ヲ行ハントセバ當然本事態ノ到ルコ
トヲ覺悟ノ上テ發足シナケレバナラナイ

此處ニ對ソシテ施策ノ困難性ガアリ微妙ナル因子
ガ内存シアル所以デアアル

今ヤ此ノ危險性ニ躊躇シテ居ル時テハナイ

大東亞戰爭完遂ヲ目標ニ一途ニ對ソシテ施策

ニ前進スベキデアツテ若シ本情況ノ如キガ發生シ
タナラバ大東亞戰爭ノ宿命ト覺悟スルヨリ外
ハアルマイ

以上捨身ノ對ソシ施策ヲ發足セントスルニ當リ
戰爭指導ノ見地ニ於テ政戰略ニ亘リ忌憚ナキ
小官ノ信ズル所ヲ述ヘ上司御決斷ノ御參考
ニ資ス

天長ノ佳節 記ス

拙居、伏、報、聞、キ、マ、

日本標準規格 B-4

142

0716